



ゆめちからテラス ..... 78



設計  
監理 株式会社北海道日建設計

施工 株式会社中山組

札幌市立中の島小学校 ..... 79



設計  
監理 (株)北海道日建設計  
設備設計は(株)北日本技術コンサル (実施設計～)

施工 建築：田中・丸竹竹田 JV、強電：北盛電設(株)  
弱電：システムサービス(株)、空調：立川工業(株)  
衛生：(株)日新工業、解体：板谷土建(株)

釜谷多目的活性化施設「釜谷ゆうなぎ館」 ..... 80



設計  
監理 株式会社北匠建築設計事務所

施工 茂泉・川瀬・平澤経常建設共同企業体

学校法人市村学園 芦別みどり幼稚園附属保育園リリー ..... 81



設計  
監理 株式会社西村建築設計事務所

施工 泰進・渡辺共同企業体

社会福祉法人高陽福祉会 ピッコリーノ保育園 ..... 82



設計  
監理 株式会社西村建築設計事務所

施工 大木建設株式会社札幌支店

éclair ..... 83



設計  
監理 株式会社 DESIGN FIELD

施工 株式会社藤井工務店

ロータス伏見邸 ..... 84



設計  
監理 株式会社 DESIGN FIELD

施工 株式会社アセットプランニング

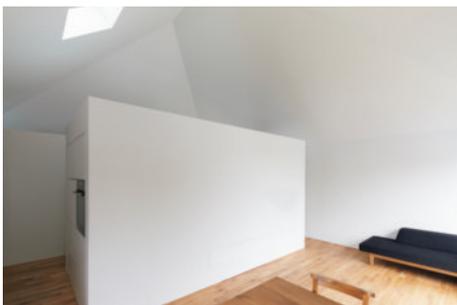
北広島市役所新庁舎 ..... 85



設計  
監理 久米・ブシク共同企業体

施工 岩田地崎・丸彦渡辺・田島特定建設共同企業体

ヨハクノイエ ..... 86



設計  
監理 小坂裕幸建築設計事務所

施工 株式会社福島工務店

赤平市立赤平中学校 ..... 87



**設計  
監理** 株式会社ドーコン

**施工**

建築主体工事（校舎棟） 西出・植村・丸宮特定 JV  
 建築主体工事（体育館棟） むらかみ・和泉・佐々木特定 JV  
 強電設備工事 相栄・末廣屋特定 JV  
 弱電設備工事 麻生・北弘特定 JV  
 空気調和換気設備 石川・植村特定 JV  
 給排水衛生設備 西出・川本特定 JV

道の駅 石狩「あいろーど厚田」 ..... 88



**設計  
監理** 株式会社ドーコン

**施工**

三津橋・酒井・三和・半澤 特定共同企業体

## ゆめちからテラス

発注者 株式会社ジャンス  
設計監理 株式会社北海道日建設計  
施工 株式会社中山組



### 《設計概要》

面積 延べ 2,428.35 m<sup>2</sup>  
構造 S造・地上2階  
外観仕上 ガルバリウム鋼板、レンガタイル、レンガ  
工期 平成29年9月～平成30年4月  
建設地 北海道江別市

### 《設計主旨》

国産小麦のみでパンを作りたいという敷島製パン(Pasco)、自分たちの育てた小麦からできるパンを見たいという道央農業協同組合(JA 道央)、両者の強い思いが結実した共同プロジェクト。硬質小麦「ゆめちから」を扱う製パン工場、ベーカリー、野菜直売所、小店舗からなる複合施設。ロードサイドをにぎわす商業施設としての顔と、衛生面に配慮した食品工場としての2つの顔を併せ持つ。背景に広がる豊かな緑を借景に、江別レンガ、道産木材を効果的に使用した開放性の高い共用空間とした。

設計担当：川東 隆、江崎岳史（元所員）

## 札幌市立中の島小学校

発注者 札幌市  
設計監理 (株)北海道日建設計  
設備設計は(株)北日本技術コンサル(実施設計～)  
施工 建築：田中・丸竹竹田JV、強電：北盛電設(株)  
弱電：システムサービス(株)、空調：立川工業(株)  
衛生：(株)日新工業、解体：板谷土建(株)



### 《設計概要》

面積 延べ 9,443.54 m<sup>2</sup>  
構造 RC/SRC/S・地上4階  
外観仕上 外断熱湿式工法のうえ可とう形外装薄塗材E  
工期 2016年6月～2017年8月  
建設地 北海道札幌市豊平区  
写真撮影 佐々木育弥

### 《設計主旨》

仮設校舎を設けず建替えた小学校。体育館を内包した校舎とし狭隘なグラウンドで建設可能な計画とした。体育館を中心に教室、水呑み場やデン、精進川に面した図書室、テラス等を連続させ、行き止りのない動線とした。体育館を囲む教室群は断熱空間となり冬季の活動の場となる体育館の温熱環境を冷負荷から守っている。児童の好奇心、探求心を引出すよう各所に色、素材、様々なスケールやテーマ性を持ったデンを散りばめた。校舎には児童の多様なアクティビティ、コミュニケーションの連鎖する風景が溢れている。  
設計担当：佐藤教明、濱口芳郎

# 釜谷多目的活性化施設 「釜谷ゆうなぎ館」

発注者 木古内町長 大森 伊佐緒  
設計監理 株式会社北匠建築設計事務所  
施工 茂泉・川瀬・平澤経常建設共同企業体



外観



ロビーホール



玄関

## 《設計概要》

建設地 上磯郡木古内町字本町 218  
面積 349.46 m<sup>2</sup>  
規模・構造 木造平屋建  
外観仕上 マグネシウム含有ガルバリウム鋼板  
工期 平成 28 年 4 月～平成 28 年 10 月

## 《設計主旨》

木古内町釜谷の地域住民が使用していた会館の老朽化を受け、新しい集いの場として本施設を新築しました。  
漁港に近接した周辺環境を考慮し、床高は防波堤より高い位置に設定し、外装材の鋼板は、耐食性に優れるマグネシウム

含有のガルバリウム鋼板を採用しました。

本施設は幅広い用途に応えることができる会館となるよう、研修室を可動間仕切りにより区画可能な大広間と、和室の2種類計画し、大広間にはイベントや葬儀が行える祭壇を兼ねたステージを設置しました。

ロビーホールは、杉羽目板を用いたアクセントウォールを持つ吹抜け空間とし、登り梁と化粧野地板を用いた天井仕上げとしました。また、吹抜け上部には電動式のハイサイドライトを設置し、風通しがよく、開放的な交流の場となるよう計画しました。

設計担当・松見陽介、小牧樹弘

学校法人 市村学園  
芦別みどり幼稚園附属保育園リリー

発注者 学校法人市村学園  
設計監理 株式会社西村建築設計事務所  
施工 泰進・渡辺共同企業体



外観（1）



外観（2）



玄関



ほふく・保育室

#### 《設計概要》

面積 延べ183.33㎡  
構造 S造・地上1階  
外観仕上 ガルバリウム鋼板角波張り  
工期 平成29年10月～平成30年3月  
建設地 芦別市南1条東1丁目8-2  
施工 泰進・渡辺共同企業体

#### 《設計主旨》

自然豊かな芦別市にある本保育園は、0歳～2歳児までを対象とした芦別みどり幼稚園附属の小規模保育園として、ゆったりとした環境の中で丁寧な保育ができる園舎を目指し建設されました。

外観は、隣接する芦別みどり幼稚園のイメージを崩さないように白と淡いピンクを基調とし園長先生の言われる「やわらかい」イメージに合わせ、固い印象を与えない計画としてい

ます。建物中央の三角形の屋根にはハイサイドライトを設け建物内部に光が届くように配慮しており天井には街のキャッチフレーズを意識したクロスを取り入れることにより、園児が芦別という土地に興味を持って豊かな個性や感情を自然豊かな土地を利用して育むことが出来るような環境を提案しています。

中央に建物出入口と職員室を配置し左右に乳児室（0歳）とほふく保育室（1・2歳）を配置することで年齢に合わせた保育を混同することなく適切に行うことを可能にしています。また、既存の幼稚園側に調理室や前室を設けることで、将来的に保育事業が拡大した場合にも保育部門と管理部門の動線が重なることなく給食を配送できるように配慮して内部計画を行いました。

本施設が少しでも園児の成長や使用する職員の手助けになることを願っています。（記・岡部）  
設計担当：安中元規、岡部宏祐

社会福祉法人高陽福祉会  
ピッコリーノ保育園

発注者 社会福祉法人高陽福祉会  
設計監理 株式会社 西村建築設計事務所  
施工 大木建設株式会社 札幌支店



外観



ポーチ



ホール



遊戯室

《設計概要》

面積 延べ700.73㎡  
構造 RC造・地上2階  
外観仕上 コンクリート打放し仕上の上多意匠装飾仕上塗材、レンガタイル、FRP製装飾塔  
工期 平成29年8月～平成30年3月  
建設地 北海道札幌市白石区北郷1条6丁目1番25号  
施工 大木建設株式会社 札幌支店

《設計主旨》

0才～5才児までを対象とした本保育園は、JR白石駅より程近い閑静な住宅街の中に位置します。

外観は、「お城のような」という園の依頼に近づけるためJR沿線上から見える正面に大小合わせて7つの塔を配置し、庇には装飾手すりを施しています。また、屋外空間は園庭の他、2階屋上に園児が保育室から直接アクセスできる屋外遊戯場

を設け、限られた敷地の中で広々と遊ぶことができる計画としました。

内部空間はお城を意識したレンガ調クロスを取り入れ、1階の0才～2才児の部屋は暖色、2階の3～5才児の部屋は寒色で色分けすることにより、年齢別に変化のある空間で保育を行える計画となっています。2階の遊戯室では窓から列車が行き来する姿を楽しむことができ、のびのびと豊かな個性を育む環境づくりに配慮しました。

また、遊戯室は隣接する保育室と可動間仕切りで仕切ること、お遊戯会や卒園式などのイベント時には大きなホールとしても活用することができます。

全体としてコンパクトにまとまりながらも、園児たちが自由に感情豊かにのびのび育つことのできる保育園を目指しました。(記・山本)

設計担当：安中元規・綿谷裕司・山本 楓



外観（南面）



ポーチ



エントランス



2LDK

《設計概要》

面積 延べ5,324.90 m<sup>2</sup>  
 構造 RC造 地上14階  
 外観仕上 シリコン樹脂塗装、コンクリート打放  
 工期 平成29年4月～平成30年8月  
 建設地 札幌市中央区南1条西17丁目  
 1-3、-4、-5、-6、-17、-21

《設計主旨》

本建物は地下鉄東西線『西18丁目駅』付近、札幌医科大学及び附属病院の北側という好立地にあり、建主からは“立地特徴を活かした良質な賃貸マンションを”との計画依頼があった。要望に応えるべく、まずは容積を限度まで駆使した無駄のない設計を実現させ、ファミリー向けの2LDKと単身向けの1LDKで入居者の可能性を広げた。

外壁は精度を上げるために何度も検査を行い、シリコン樹脂塗装・コンクリート打放であるのにも関わらずパネルのような仕上がりを実現し、病院付近である事を意識した白を基調とする清潔感ある見た目とした。

別棟として約60mの自立式立体駐車場も併設し、14階建て76戸の住人が不自由なく便利に駐車できるスペースを確保した。

この建物が入居者や地域の人々に長く愛される、街の新たなシンボルのような事を目指した。

設計担当・神田雅章



2LDK



エントランス



2階ホール



外観 (正面)

《設計概要》

面積 延べ1,786.66㎡  
構造 RC造 地上11階  
外観仕上 コンクリート打放、外装用ボーダータイル、  
ウレタン樹脂塗装  
工期 平成29年7月～平成30年9月  
建設地 札幌市中央区南19条西16丁目13-4

《設計主旨》

日影規制・33m高度地区の制限がある中で限度まで計画をした、11階建てのサービス付き高齢者向け住宅である。

3～11階に1LDK(18戸)・2LDK(9戸)、2階に厨房併設の多目的ルーム・介護用浴室を、1階には理容室を設けるなど、サービスは充実した内容となっている。

オーナーからテーマとして与えられたのが『和』と『モダン』であった。外部は木調の色合いと縦格子の手摺、瓦を意識したタイルで『和』を表し、反対にコンクリート打放によって『モダン』を表現した。

内部にもふんだんに木目調を使い、高齢者が生活していく中で『温かみ』のある空間となることを意識した。

設計担当・神田雅章

# 北広島市役所新庁舎

発注者 北 廣 島 市  
 設計監理 久米・ブノク共同企業体  
 施工 岩田地崎・丸彦渡辺・田島特定建設共同企業体



北西側外観



トップライトからの自然光が注ぐ吹抜



地域子育て支援センター活動室



議場



市内を一望する5階展望テラス

## 《設計概要》

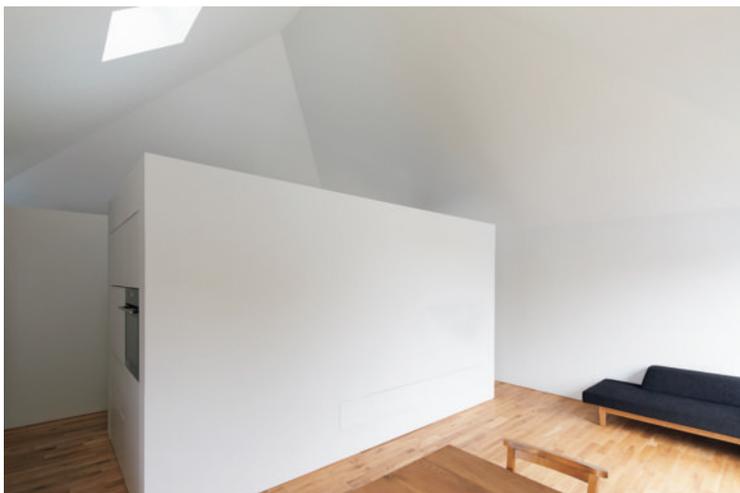
面積 延べ 10,785.43㎡  
 構造規模 鉄骨造 地上5階建(建築基準法 地上4階・地下1階)  
 工期 平成27年8月～平成30年8月  
 建設地 北広島市中央4丁目2番地1  
 外観仕上 磁器質タイル貼(PC板+外断熱FRCパネル下地)  
 アルミスパンドレル(PC板外断熱+鋼製下地)  
 アルミカーテンウォール(防音Low-E複層ガラス)他  
 設備業者 機械設備：池田煖房・丸北三建・フォルテック JV  
 電気設備：三共・北英・丸寛佐藤 JV  
 地中熱ヒートポンプ設備：藤井・道三建・島田 JV

## 《設計主旨》

新庁舎は、市庁舎機能に加え、新たに保健センター、地域子育て支援センターの他、市民活動の場となる多目的室を備え

た複合庁舎として計画された。敷地の高低差を活かし、1階・2階それぞれのレベルで人・車がアクセス可能な計画とし、1階には保健センター・子育て支援センターと多目的室、2階には市民利用頻度の高い窓口機能を配置。3・4階には窓口・行政機能、5階には議会関連諸室の他、市民の憩いの場としてカフェや展望テラスを配した。市民が親しみ、利用し易いことは勿論、あらゆる世代の方が集まる施設として、交流の広がる庁舎を目指し、様々な活動の様子が見えるよう視覚的つながりに配慮し、5層に渡る建物全体を吹抜と階段で繋ぐオープンな計画とした。構造的には重要度係数1.5の高耐震構造とする一方、環境面では、PC外断熱外壁やLow-Eペアガラス等による高气密・高断熱化、床輻射冷暖房や床吹出空調等の居住域空調の採用、太陽光発電や地中熱ヒートポンプ等の自然エネルギー利用等、エコ庁舎を目指した。

外観は、各面毎の機能に合わせて開口率を調整すると共に、防音サッシを採用する等、航空騒音や隣接鉄道騒音に配慮した仕様とする一方、共用部は可能な限りガラスを使用し、にぎわいや活動が外部へ表出することを意図した。



#### 《設計概要》

面 積 延べ 96.68 m<sup>2</sup>  
 構 造 W造 地上 2 階建  
 外観仕上 ガルバリウム鋼板 長尺横葺  
 工 期 平成 29 年 4 月～平成 29 年 8 月  
 建 設 地 札幌市中央区円山西町

#### 《設計主旨》

夫婦と子供の 3 人が暮らす小さな家。  
 アトリエを併設した住まいである。  
 奥様は紙物のデザインをする作家であり、製作活動を行う場となるこの家で 1 日の大半を過ごす。職住を完全に分離することなく日常生活を送りながらも作品作りに没頭することができる暮らしができないかと考えた。  
 敷地は札幌市中央区円山西町の傾斜地にある緑豊かな住宅街にあり、東側に札幌の街や円山を望むことができる。この眺

望を生かすため隣地の隙間を読み取り開口部の位置を決めた。この開口部から差し込む朝日は北面の大きな壁に当たり季節や天候の変化を映し出す。

平面は間口 6.4 m、奥行 7.8 m の小さな矩形である。

前面道路のレベルを玄関のある中間階とし、半階下がる個室と水周り、半階上がると LDK、さらに数段上がった位置にアトリエを配置することで、個室とアトリエの適度な距離感を保っている。螺旋状の動線には絶えず光が廻り込み様々な表情を見せる。

2 階は外周部以外に柱は無く、寄棟屋根によりフロア全体が包み込むように覆われている。

建物の中心に据えられたアトリエは壁に反射した朝日の光が登る神秘的な空間となる。

季節によって、日によって、時間によって変化する光を映す「ヨハク/余白」のある家になったのではないかと思う。

設計担当・小坂裕幸

# 赤平市立赤平中学校

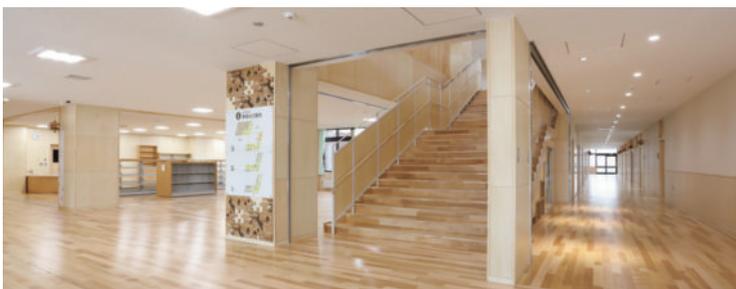
発注者 赤 平 市  
設計監理 株式会社ドーコン  
施 工 建築主体工事 (校舎棟) 西出・植村・丸宮特定 JV  
建築主体工事 (体育館棟) むらかみ・和泉・佐々木特定 JV  
強電設備工事 相栄・末廣屋特定 JV  
弱電設備工事 麻生・北弘特定 JV  
空気調和換気設備 石川・植村特定 JV  
給排水衛生設備 西出・川本特定 JV



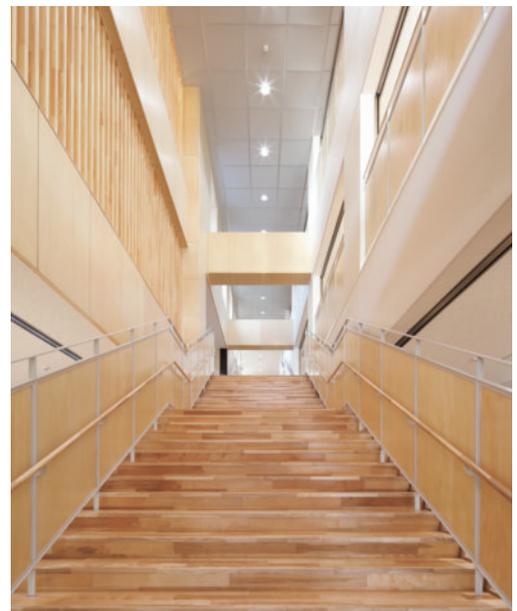
正面外観



多目的ホール



エントランスホール



上り階段

## 《設計概要》

面積 延べ 52,351.65 m<sup>2</sup>  
構造 RC造・地上3階  
外観仕上 乾式レンガタイル、石調シート、複層塗材  
工 費 278 千万  
工 期 平成 29 年 6 月～平成 30 年 7 月  
建設地 赤平市北文京町 1 丁目 2 番地  
設備業者 石川・植村特定 JV、西出・川本特定 JV

## 《設計主旨》

赤平市赤平中学校は、統廃合により、市内で一つの中学校となる。赤平市の子ども達全員が通い、学ぶ場として、居心地の良い空間と思い出に残る建物をコンセプトに、1階から3階

までを開放的に繋げる階段、木ルーバー天井の多目的ホール、ランチスペースも兼ねることのできるホールを設けた。また敷地は 8 m の大きな高低差があり、生徒や来校者がアクセスしやすくバリアフリーに対応するため、前面道路のレベルに合わせた「校舎棟」と体育館や家庭科室など地域開放に利用する部屋を集め、高台レベルに建設する「体育館棟」の 2 棟とし、校舎棟 3 階床レベルと体育館棟レベルを合わせ、2 本の渡り廊下で繋げることで、大きな回遊動線を創出した。

また内装は木質化を図り、木に囲まれた落ち着いた空間とした。サイン計画では、赤平産木材を使い、地元デザイナーや地元企業、生徒と協力し、オール赤平のサインデザインとすることで、施設に愛着を持てる計画とした。

# 道の駅 石狩「あいろーど厚田」

発注者 石狩市  
設計監理 株式会社 ドーコン  
施工 三津橋・酒井・三和・半澤 特定共同企業体



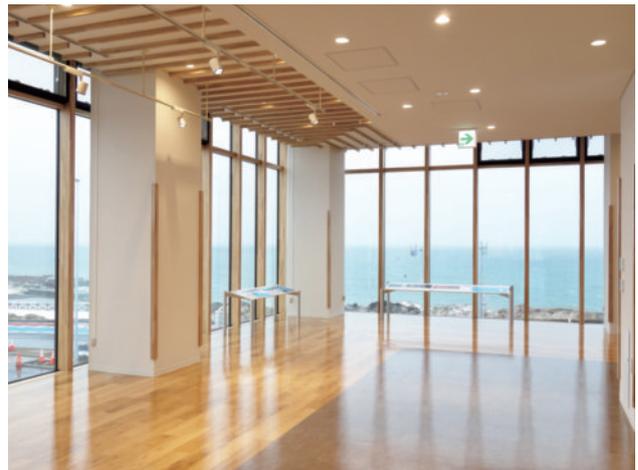
外観 1



外観 2



自然・歴史展示コーナー



交流スペース

## 《設計概要》

面積 延べ 1,334.56 m<sup>2</sup>  
構造規模 RC造 地上2階・地下1階  
工期 平成29年1月～平成30年3月  
建設地 北海道石狩市厚田区厚田68-5ほか  
外構仕上 コンクリート打放し・塗装仕上  
設備業者 電気設備 北盛・クリヤ特定共同企業体  
機械設備 石狩環境・石狩管工 特定共同企業体

## 《設計主旨》

本施設は国道231号線沿いに道の駅石狩「あいろーど厚田」として建てられました。建物は日本海を見渡すことのできる斜面地に建てられ、隣接する厚田公園などのランドスケープと一体的な整備を行いました。

1階は地場産品を紹介・販売するコーナーや地域観光情報コーナー、休憩スペースや24時間トイレ等を配置しました。2階には眺望の良い交流スペースや自然歴史展示コーナー、地場産品体験コーナーや自由に使える休憩スペースを配置しました。また2階からは、屋外のこども広場にアクセスすることができます。さらに日本海を一望する3階には地域コミュニティ施設と日本海を一望できる展望バルコニーを配置し、美しい夕日を眺めることができます。3階からは厚田公園へバリアフリーでアクセスできるよう計画しました。

建物の内装には天井やサッシ等に地域にゆかりのある木材を用い、お年寄りから若い世帯まで親しみやすい木のぬくもりを感じられる空間としました。

設計担当：大槻政洋